

海員春闘 [大衆討議] 北海道管内

物価高騰に負けず後継者確保につながるベースアップを

北海道地方支部

令和8年度労働協約改定に向けて、1月6日～2月16日までの大衆討議期間に、職場委員や船内役員と協力し、水産・内航・港湾・旅客船・陸上部門などの集会や訪船を実施した。意見集約については、各部門の専門委員会で取りまとめた最終答申案を基本に、現場の地区事情を盛り込んだ要求案を作成し、それぞれの地区を取り巻く状況について共通認識を図るための意見交換を行い、理解を深めるとともに、要求案に対する現場組合員の意見を集約し、要求内容を取りまとめた。

今次海員春闘の背景は、水産部門が燃料油価格の高止まり、国内部門は、苫小牧港や石狩新港への船舶入港隻数の変動が不安要素として残る。

大衆討議を終えて、現場組合員の全般的な意見集約は▽物価高騰に負けないベースアップを期待する▽船員職業の後継者確保のために、陸上産業に負けない労働環境の整備が必要—などであった。

各船の主な意見は▽漁がなければ生活できないことから、基本給の改定を望んでいる▽ベースアップに重点をおいて交渉してもらいたい▽食料金および食料補助費は物価高騰のなか、改善してもらいたい▽中途採用や新卒採用について、今後、段階的に定年者が出てくるので、会社の雇用計画を確認してもらいたい▽小型船舶職員の魅力向上の為に、待遇を厚くしていただきたい▽要員が不足、休みがうまく回っていないことから、基本給の改善は必須であると考え、要求案には異論なし▽住宅補助費の改善について今年度の要求に追加するか検討してもらいたい▽今後の船員確保のため、ベアを中心に会社と交渉してもらいたい—などの意見があった。

「海員だより」